

## 眼瞼炎とは

眼瞼炎（がんけんえん）とは、まぶたの炎症で、炎症のできる部位により以下のように大別されます。



**眼瞼縁炎（がんけんえんえん）**

まつ毛の根元付近に起こるもの



**眼瞼皮膚炎（がんけんひふえん）**

まぶたの皮膚に起こるもの



**眼角眼瞼炎（がんかくがんけんえん）**

目尻に起こるもの

# 眼瞼炎の原因 1



## 眼瞼縁炎（がんけんえんえん）

まつ毛の根元付近に起こるもの

感染性  
（化膿性）

細菌（ブドウ球菌）やヘルペスウィルスなどが、まつ毛の毛根や、脂腺、汗腺に感染して起こる。

非感染性  
（脂漏性）

皮脂腺の分泌過剰により起こる。

## 眼瞼炎の原因2



**眼瞼皮膚炎（がんけんひふえん）**

まぶたの皮膚に起こるもの



**眼角眼瞼炎（がんかくがんけんえん）**

目尻に起こるもの

非感染性

点眼・軟膏などの薬品や、化粧品、シャンプー、金属やゴムなど様々なものがアレルギーとなり起こる。  
（皮膚のアレルギー性炎症）

## 眼瞼炎の主な症状

- まぶたが腫れ、発疹・ただれやあかむけができる
- 眼とまぶたにピリピリする痛みが起こる
- 光に敏感になる
- 眼の中に何かが入っている感じがする





「眼瞼縁炎」は重症化すると、まぶたが腫れてまつ毛が抜け落ちたり、まつ毛の根元に膿のたまった小さな膿瘍ができることもあります。

また、皮膚の肥厚、まぶたの変形が起こることもあるので注意が必要です。

## 眼瞼炎の治療 1

**眼瞼縁炎**の場合、まぶたを清潔に保つためにベビー用シャンプーを薄めた液などで毎日まぶたの縁を洗浄します。

感染性の場合、抗菌薬の点眼や眼軟膏も合わせて使用します。



## 眼瞼炎の治療 2

眼瞼皮膚炎の場合、「アレルゲン」の特定が重要です。特定されればアレルゲンとの接触を避け、ステロイド軟膏を使用します。

症状が強い場合は抗ヒスタミン薬などを内服することもあります。



## 今月のコラム とびひ

**とびひ**は、虫刺され・湿疹・引っ掻き傷などに細菌が入り込むことで発症する感染症で、人にうつる病気です。

**とびひ**を掻いた指で他の部分を触ることで次々とひろがって『飛び火』していくのが特徴です。

**とびひ**は一般的に使われる通称で、正式な病名は「伝染性膿痂疹（でんせんせいのかしん）」とされています。



## 今月のコラム とびひ

とびひには「水疱」ができるものと、「かさぶた」ができるものの2種類のタイプがあります。

### 「水疱」ができるタイプ

皮膚が弱い乳幼児に多く、主に夏季に発症。  
軽いかゆみがあるが熱は出ない。



### 「かさぶた」ができるタイプ

年齢や季節に関係なく発症。全身の熱や咽頭痛が出たり、病変近くのリンパ節が腫れることもある。

今月のコラム とびひ



## とびひの予防

湿疹、あせも、虫刺されなどのちょっとした傷でも早めに治療しましょう。夏は汗をかいたらシャワーを浴び石鹸を使ってよく洗うことを心掛け、爪は短く切りましょう。

**とびひ**ができてしまったら、数が少ないうちに専門医で治療を受けることが大切です。

# — 今月のレシピ —

## — ガーリック風味の鶏むね肉カツ —



### 材料

鶏むね肉・・・・・・・・・・ 2枚

塩・こしょう・・・・・・・・ 少々

おろしにんにく・・・・・・ 適量

小麦粉、溶き卵、  
パン粉・・・・・・・・・・ 各適量


### 【A】ソース

ケチャップ・・・・・・・・ 大さじ4

酢・・・・・・・・・・・・・・ 大さじ2

和辛子・・・・・・・・・・・・ 適量

おろしにんにく・・・・・・ 少々

 つくり方

1. 鶏むね肉は厚さを半分にして開き（観音開き）、塩・こしょう・おろしにんにくを両面にすり込む。
2. フライパンに適量のサラダ油を熱し、【1】に小麦粉、溶き卵、パン粉の順にころもをまぶして中火で焼く。焼き色がついたら返して焼く。
3. じっくりと焼き、中まで火が通ったら油をきって、食べやすい大きさに切る。  
【A】をあわせたソースをかけて出来上がり。

鶏むね肉にはビタミンAやB群などのビタミンが豊富に含まれています。なかでもビタミンB群の一種であるナイアシンが多いことがわかっています。ナイアシンは皮膚や粘膜を健康に保つ働きや、風邪などの細菌感染予防の効果が期待できます。ナイアシンは肉の部分に多いので皮を取り除いても損なわれません。

# 猫の目

猫の目は、明暗によって丸くなったり細くなったりして、形や大きさが激しく変わります。

このことから、物事が目まぐるしく変化する様子を『猫の目のよう』とたとえます。

## 例

政策が猫の目のように変わる。

彼女の気分は猫の目のように変わる。



## 猫の目

猫を始め、光の少ない夜間に活動する夜行性肉食動物の網膜の裏には『タペタム層』という細胞層があります。

『タペタム層』はわずかな光を反射して視神経に伝える働きをしますので夜間でも物を見ることができるとのことです。



## 猫の目

暗い場所で猫などを撮影したときに目が光って写ることがあるのは『タペタム層』にフラッシュが反射するからです。

『タペタム層』を持たない人間の場合は、網膜上の血管が光で照らされて「赤目」になります。

